

令和3年度 学校評価アンケート集計結果

本校では、学校自己評価の資料とするために、保護者や生徒、教職員を対象とした「学校評価アンケート」を実施しております。保護者の皆様には、ご多忙中にもかかわらずご協力をいただきありがとうございました。アンケートの集計結果と分析がまとまりましたのでご報告いたします。

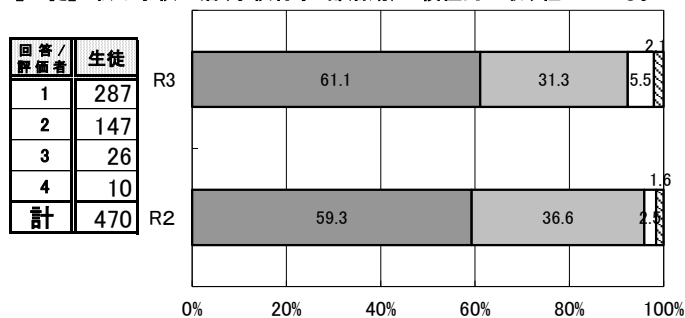
評価者数:	【1年】	【2年】	【3年】	【計】
生徒	153	156	159	468
保護者	145	110	143	398
教職員	／	／	／	30

回収率:	【1年】	【2年】	【3年】	【計】
生徒	96.8	97.5	100.0	97.5
保護者	91.8	68.8	89.9	82.9
教職員	／	／	／	76.9

回答番号 1. よくあてはまる 2. ややあてはまる 3. あまりあてはまらない 4. 全くあてはまらない

◆質問1

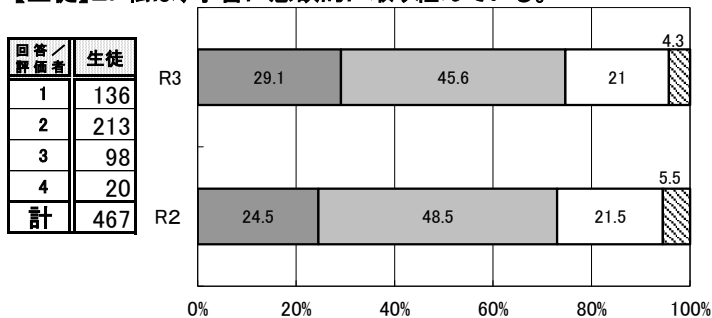
【生徒】1.私は学校生活(学校行事・部活動)に積極的に取り組んでいる。



「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が9割以上であるのはここ数年の傾向ではあるが、それが昨年度と比べ3.5%となり、結果として「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」がやや+となっている。学校行事や部活動に制限が続いた状況から判断するとやむを得ない面もあるが、学校生活の充実に向け積極的に取り組む姿勢を支援することを怠らないようにしていきたい。

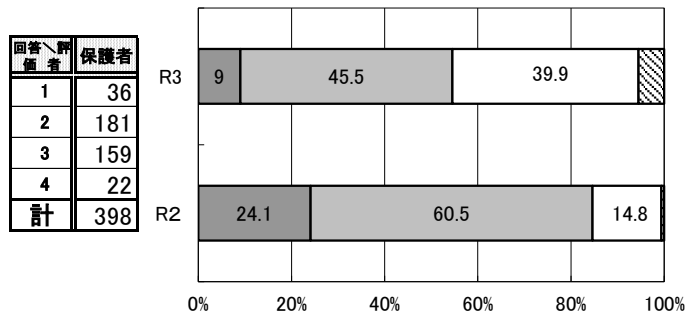
◆質問2

【生徒】2. 私は、学習に意欲的に取り組んでいる。



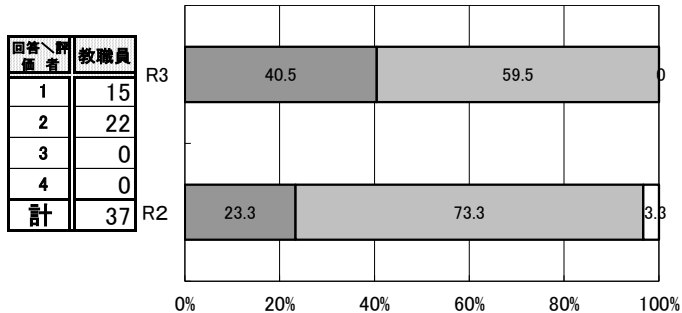
昨年度と比べ「あてはまる」「ややあてはまる」が+1.7%であり、特に「よくあてはまる」が+4.6%ということは、学習に意欲的に取り組む生徒が増えていることを示唆している。一方で、全体の4分の1の生徒は学習に意欲的でないことから二極化の進行が依然懸念される。進路実現に際して学力がネックとなるケースが増えており、基礎学力の定着のための意欲的な取り組みを促していきたい。

【保護者】1.私は、黒南高の教育活動に関心がある。



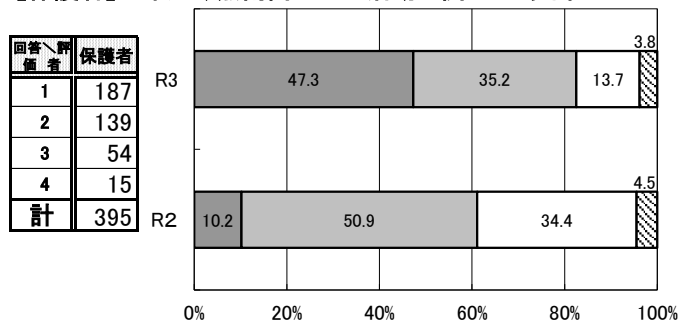
昨年度約85%の保護者が「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答していたのに対し、今年度はそれが55%と大幅に低下した。コロナ禍で学校に求められる意味・役割も大きく変化していることに対しての期待に応えられていない現状があるにしても、家庭と学校との距離が離れることのないように、教育活動の充実を目指す姿勢を改めて持つべきであろう。

【教職員】1. 私は、本年度の努力点(9項目)に対して、前向きに取り組んでいる。



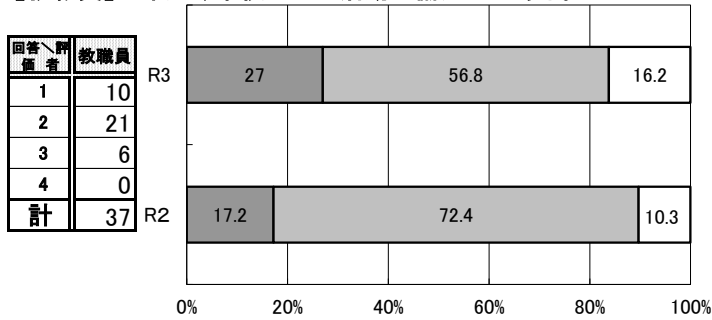
昨年度は肯定的回答が100%に達することができなかったが、今年度はそれを満たすことはできた。しかしたとえ目標を共有することができたとしても、その先にある成果あるいは行動として表すことは非常に難しい。保護者の「黒南高の教育活動に関心」の項で厳しい回答が増加したことを踏まえればなおのことであり、この結果に甘い自己評価を下すべきではないだろう。

【保護者】2. 私は、黒南高のPTA活動に関心がある。



昨年度は肯定的回答が約6割であったのに対し、今年度はそれが8割超と大幅に増えた。コロナ禍において昨年度に続いて今年度もPTA活動に中止や制限が加わることがほとんどであったが、保護者の立場としてはたとえそうであったとしても積極的に関わりたいという強い思いがある。その思いをしっかりと受け止めた上で、今後の活動の充実を目指すべきであろう。

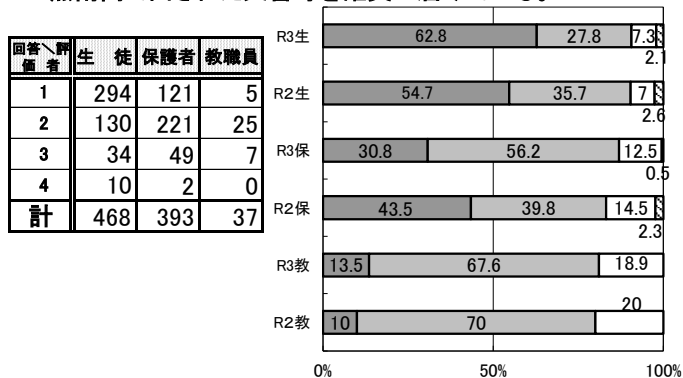
【教職員】2. 私は、本校のPTA活動に協力的である。



昨年度は約9割が肯定的回答であったが、今年度は83.8%にとどまってしまう。昨年度に引き続きPTA関連行事が減少あるいは中止となるケースが多かったことが背景にはあるが、以前にも増して保護者と学校との連携が必要とされていることを念頭に置くべきだろう。

◆質問3

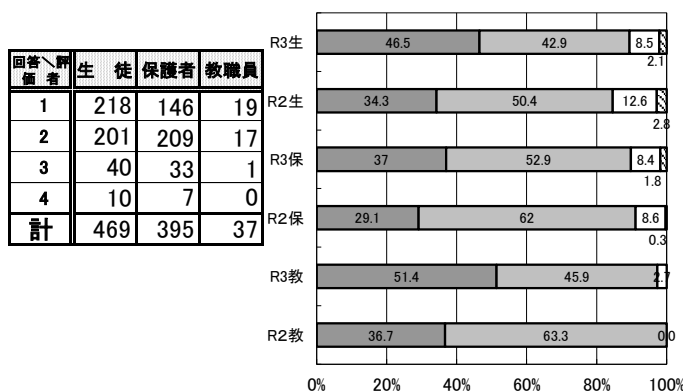
3. 黒南高で出された文書等を確実に届けている。



肯定的回答が生徒・保護者が約9割、教員が8割というのはほぼ例年通りの傾向であるが、生徒の中にはその意識が低い者が少数ながら依然として存在していることが見てとれる。100%達成が理想であるが、そうならないのは残念なことである。今後も確実に届くことを目標にしていかなければならない。

◆質問5

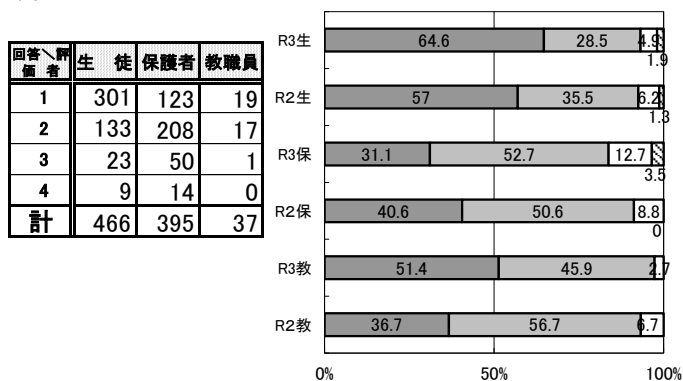
5. 黒南高は、チャイムtoチャイムを実践し授業を大切にしていると思う。



チャイムtoチャイムが実践されているという認識は生徒・保護者・教職員とも8割を超えている。総合学科という特性上頻繁な教室移動があるのは生徒にとって大変な負担であるが、今後も授業を大切にするという共通認識を持ち、実践に努めていきたい。

◆質問7

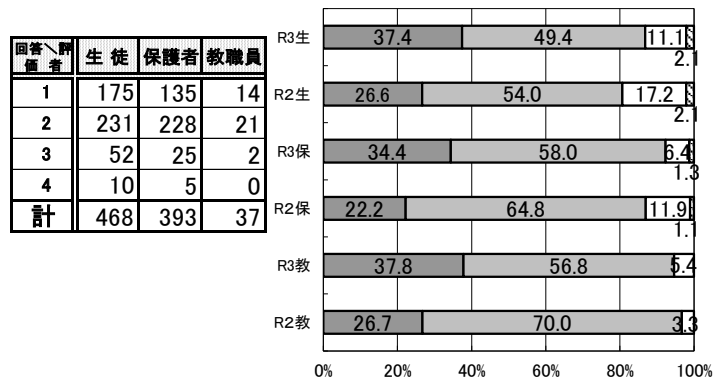
7. 黒南高は、生徒の進路希望にあった科目が設定されていると思う。



生徒、保護者は昨年度と変わらず肯定的な回答が多い。総合学科に対する生徒、保護者への理解を早期のうちに進めていくことによって、生徒の進路希望を実現させるための科目選択の重要性を理解し、高校生活の充実、さらには進路の決定に繋がると思われる。今後、科目設定・科目選択の取り組みをさらに充実させていく必要がある。

◆質問4

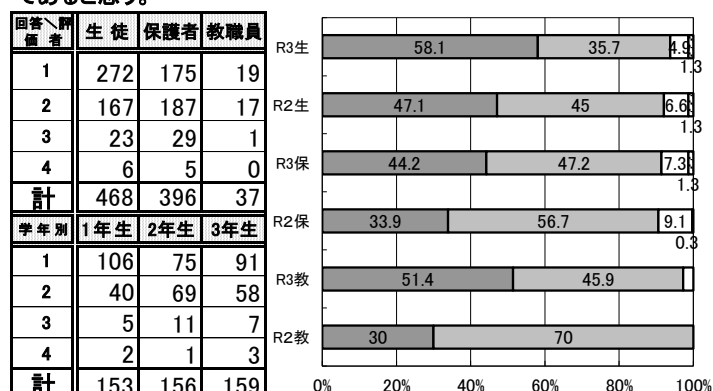
4. 黒南高は、真剣な学習態度を育成し、学力の向上に努めていると思う。



「真剣な学習態度」を身につけるために努力していると認識している割合は生徒・保護者・教職員とも80%を超えている。また、あてはまらない割合が昨年度より減少した。生徒に対しては引き続き「真剣な学習態度」が学力向上や進路実現に直結していることを強く認識させ、実感できるだけの成果をあげていく方策を実践していくべきであろう。

◆質問6

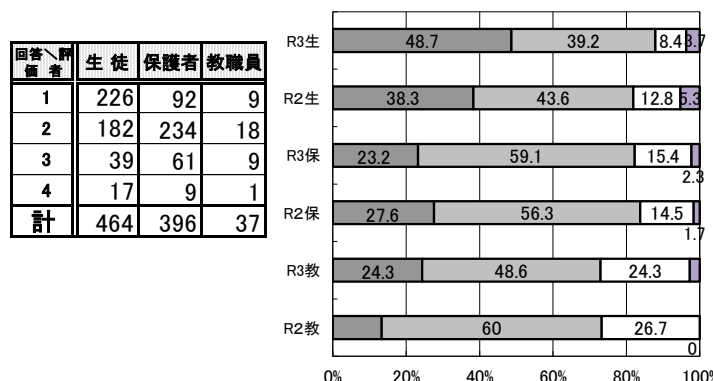
6. 黒南高は、進路情報の提供や進路相談などの進路指導が適切であると思う。



肯定的な回答は昨年を上回った。保護者は「よくあてはまる」と答えた人数が増えているのは、学校からの連絡等を今まで以上に気に掛けている表れかと思われる。さらに、生徒への指導や保護者への連絡等が行き届くような適切な指導を心がけたい。また、毎年1割弱ほどの「あまりあてはまらない」の回答をした生徒に対する働きかけが重要になるが、併せて進路が未定になっている生徒への支援の強化についても今後の課題になる。

◆質問8

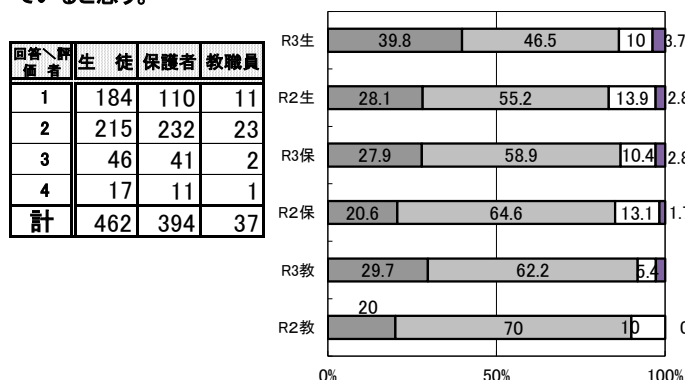
8. 黒南高は、服装・頭髪等の指導を適切にしていると思う。



昨年は生徒の8割程度が、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答していたが、今年度はそれをやや上回っている。それに対し保護者はやや下回った。教職員は昨年同様の回答である。

◆質問 9

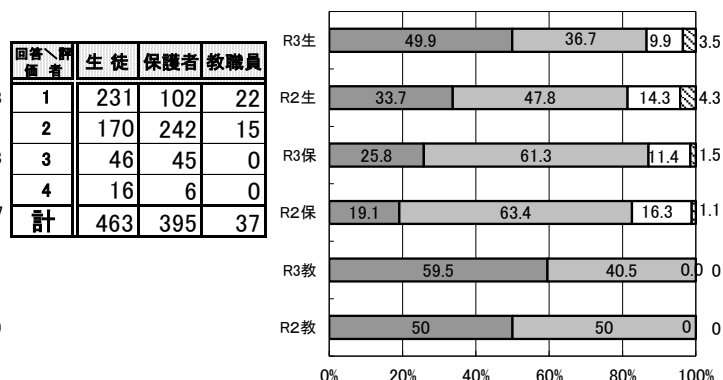
9. 黒南高は、挨拶・言葉遣い・礼儀・時間厳守などの社会性を育成していると思う。



昨年同様、生徒・保護者・教員の8割以上が肯定的な回答をしていて、生徒、保護者の肯定的な認識が若干増加している。3つの立場から見た認識のズレが少ないと言える。引き続き、家庭と協力して生徒自身の自覚を促すよう進めていきたい。

◆質問10

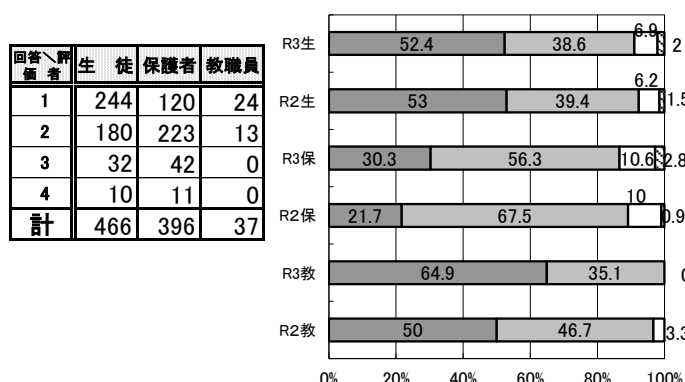
10. 黒南高は、いじめの未然防止や解消に取り組んでいると思う。



10割の教職員が「いじめの未然防止・解消に取り組んでいる」と答えているものの、生徒の肯定的な解答は87%である。昨年度と比べて生徒の肯定的意見は増加したが、いじめの対応には、教員と生徒、保護者側の感じ方にギャップがあり、これをどう解消していくかが課題になっている。

◆質問11

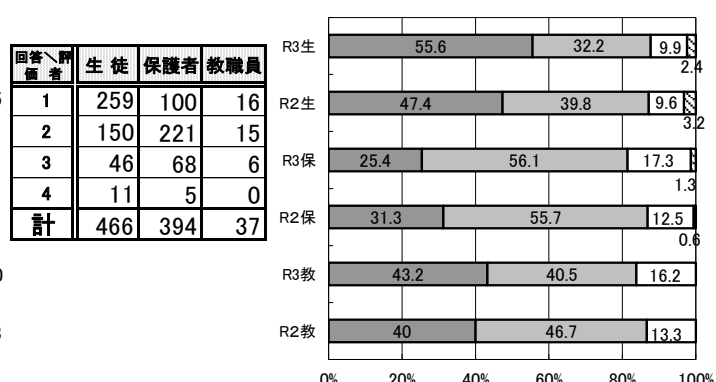
11. 黒南高は、交通・生活安全講話や薬物乱用防止講話、性に関する講話などを実施するなど、生命尊重の精神を育成していると思う。



今年度も肯定的な回答が約9割を占めている。昨年とほぼ同じ割合である。高校生の交通事故や死亡事故が多発していることを踏まえ、今後も、日頃からの交通・生活安全指導や生命尊重につながる指導に引き続き力を入れていきたい。

◆質問12

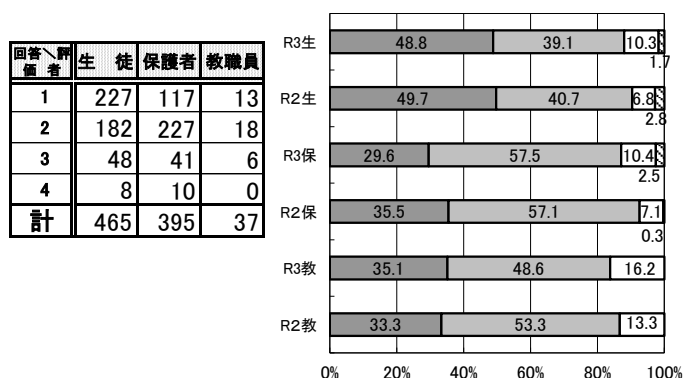
12. 黒南高は、部活動が充実していると思う。



生徒や教職員の「よくあてはまる」の割合が若干増加している。保護者は否定的な意見が増加している。コロナ禍で思うように活動が出来ないという影響もあるかもしれないが、今後も、生徒たち自身が部活動にやりがいを感じられるよう、各部活動においてきめ細かな指導や充実した活動に努めていきたい。

◆質問13

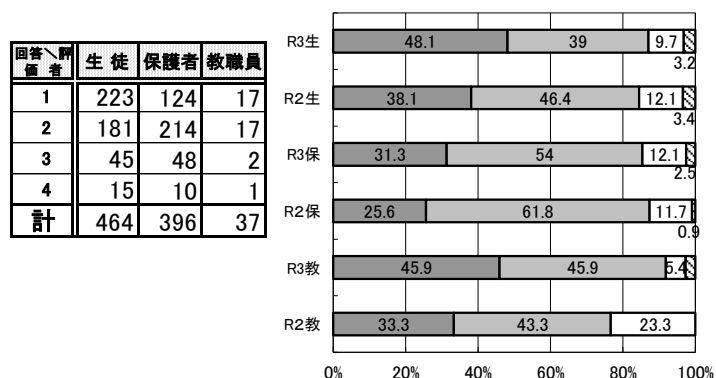
13. 黒南高は、外部講師の講演・海外研修・留学生受け入れ等、国際理解教育に力を入れていると思う。



昨年度と比べると、生徒・保護者・教員全ての回答で肯定的な意見が若干減少し、否定的な回答が増える結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、海外研修や留学生受け入れ等を断念することになったため、それがアンケート結果に反映されたものと思われる。

◆質問14

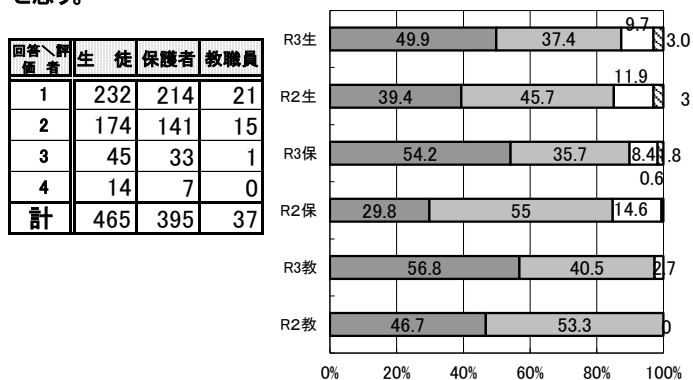
14. 黒南高は、校内の安全や衛生が、よい状態に保たれていると思う。



昨年度に引き続き、生徒・保護者・教員全ての回答で「よく当てはまる」という意見が増加している。新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒や施設消毒等を継続して行っているため、公衆衛生への意識が高まっていることが反映されていると思われる。

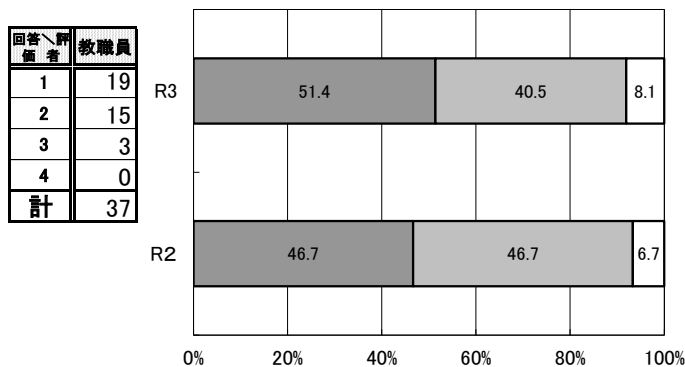
◆質問15

15. 黒南高の先生は、悩み事の相談に親身になってのつてくれていると思う。



前年度と比較して、生徒・保護者・教員全ての回答で「よく当てはまる」が大きく増加している。一方で、生徒・保護者共に1割弱は否定的意見である。教員の否定的意見は少数で、生徒・保護者の感じ方と多少の差異も見られる。その差異をいかに埋めるかが、今後の課題かと思われる。

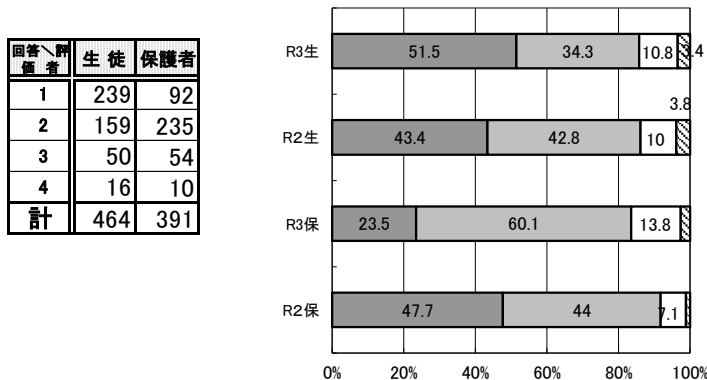
【教職員】16. 私は、本校入学を中学生に対して自信を持って薦めることができる。



前年度と比較して「よく当てはまる」の割合が増加し5割を超えたが、否定的な回答もわずかながら増加している。今後本校の教育活動をより充実させるため、問題点解決へ向けた取組が必要だと思われる。

◆質問16

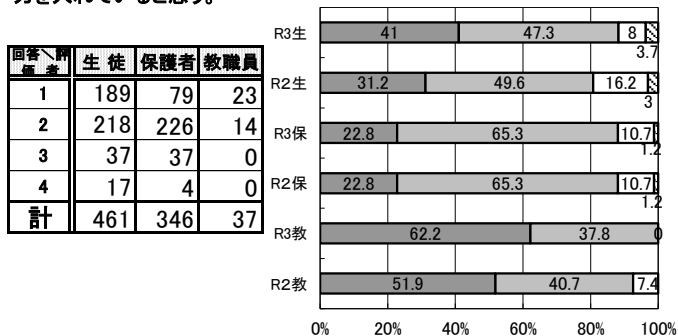
16. 私は(自分の子供が)黒南高に入学してよかった。



生徒の肯定的意見は前年度とほぼ同じだが、保護者の「よくあてはまる」の割合が大幅に減少し、否定的な回答も増加している。コロナ禍による各種学校行事の中止や変更が要因の一つであるとも考えられるが、今後より多くの人が納得できるような学校運営が必要だと思われる。

◆質問17

17. 黒南高は地域と共にある学校づくりを目指し、地域と連携する活動に力を入れていると思う。



地域連携事業への積極的な取り組みやホームページの活用等の評価が教職員の数字に表れ、否定的な回答は0であった。しかし、生徒・保護者との感じ方には開きが見られるので、今後さらに活動に力を入れるとともに、周知徹底に努めたい。

昨年度の学校評価アンケートを受け、教職員一同様々な角度から検討し、早急に取り組めることから改善に努めてまいりました。今回の学校評価においても、生徒・保護者の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただきました。これらの結果を今後の教育活動や学校運営に生かし、保護者の皆様にご理解をいただきながら、特色ある学校づくりを進めていきたいと考えております。